



TBS

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 株式会社TBSホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9401 URL <https://www.tbsholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略局長 (氏名) 佐藤 信一郎 TEL 03-3746-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	178,863	3.9	10,106	△30.7	17,034	△9.5	9,191	△23.4
2022年3月期第2四半期	172,080	15.2	14,593	222.7	18,825	92.8	11,995	101.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △134,085百万円 (－%) 2022年3月期第2四半期 51,852百万円 (△37.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	54.34	—
2022年3月期第2四半期	70.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	994,056	741,712	73.1
2022年3月期	1,201,632	883,002	72.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 726,560百万円 2022年3月期 868,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	22.00	37.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	368,200	2.8	22,000	8.1	35,000	14.0	20,300	△36.6	120.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	171,591,065株	2022年3月期	171,591,065株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,842,234株	2022年3月期	874,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	169,131,400株	2022年3月期2Q	170,806,567株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波に見舞われましたが、感染防止と経済活動の両立を目指し、まん延防止等重点措置などの行動制限が無かったことにより、個人消費を中心に景気は緩やかに持ち直しました。しかしながら、急激に進行した円安により、エネルギーや原材料価格が高騰しており、物価上昇が家計におよぼす影響に注意が必要な状況となっております。さらに、世界的な金融引き締めや、ウクライナ情勢による海外景気の下振れが、国内景気を下押しするリスクにも注意が必要な状況にあります。

テレビ広告市況のスポット広告費における関東地区投下量は前年同期比97.7%となりました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、テレビのタイム収入で減収となったものの、事業部門の大幅な増収により、1,788億6千3百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、番組制作費やイベント実施費用などの増加により、1,687億5千7百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

この結果、営業利益は101億6百万円(前年同期比30.7%減)、経常利益は170億3千4百万円(同9.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は91億9千1百万円(同23.4%減)となりました。

◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,382億1百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は43億3千9百万円(同51.3%減)となりました。

(株)TBSテレビのテレビ部門の当第2四半期連結累計期間の売上高については、1億8千万円減収の931億5千5百万円(前年同期比0.2%減)となりました。このうち、タイム収入は3年ぶりの開催となった「世界陸上2022オレゴン」のセールスが好調でしたが、前年の「東京オリンピック・パラリンピック」の反動をカバーするには至らず、401億1千万円(同5.0%減)となりました。一方スポット収入では、関東地区投下量が前年比2.3%減と、大変厳しい市況でしたが、5局シェアが20.9%と、前年同期比で0.6ポイント改善したことにより、397億6千5百万円(同0.4%増)、配信広告収入は、国内の無料動画配信が引き続き好調で、23億8千7百万円(同34.0%増)となりました。

(株)TBSテレビの事業部門の当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、42億5千7百万円増収の146億7千8百万円(前年同期比40.9%増)となりました。マーチャンダイジングセンターは巣ごもり需要の反動で減収となったものの、催事・興行では、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年の反動に加え、TBS開局70周年記念 舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』のロングラン上演が7月より始まったことや、サッカー「パリ・サン＝ジェルマン ジャパンツアー2022」の成功が大きく貢献し、前年に比べ大幅な増収となったほか、映画・アニメも「99.9-刑事専門弁護士-THE MOVIE」や映画「五等分の花嫁」といったヒット作に恵まれ増収となりました。

(株)TBSラジオは、タイム収入の落ち込みをイベント売上がカバーし、2千4百万円増収の41億7千9百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

(株)BS-TBSは、タイム収入、スポット収入の増収に加えて、配信を含む事業収入が引き続き好調で、6億5千6百万円増収の85億1百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

(株)TBSグローディアは、ショッピング部門売上、DVD収入の減少により、13億5千6百万円減収の124億5千1百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

(株)日音は、邦楽、洋楽収入が落ち込んだことにより、2億7千8百万円減収の40億1千5百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

TCエンタテインメント(株)は、旧譜DVD販売の不調を新譜販売がカバーしたことにより、ほぼ前年並みの3百万円減収の37億7千4百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

費用面においては、番組制作費の増加に加えて、事業部門での大型イベントの実施などにより、前年より費用が増加しました。この結果、同セグメントにおける営業利益は45億7千4百万円減益となる43億3千9百万円(前年同期比51.3%減)となりました。

◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は、325億6百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は20億8百万円（同14.2%増）となりました。

スタイリングライフグループでは、通信販売事業の㈱ライトアップショッピングクラブで、前年好調であった受注の落ち着きにより、減収減益となりました。

ビューティ&ウェルネス事業は、化粧品の開発・製造・販売を行っている「BCLカンパニー」で、落ち込んでいた海外売上に復調の兆しが見え始めているものの、依然厳しい状況が続いております。㈱CPコスメティクスでは、化粧品販売が増加したものの、販促費の増加等により、事業全体で減収減益となりました。

一方で、中核の雑貨小売販売事業の「プラザスタイルカンパニー」は、感染症に伴う自粛要請解除による人流回復などで大幅な増収増益となり、スタイリングライフグループ全体で増収増益となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は81億5千4百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は37億5千万円（同4.3%減）となりました。

収入面は賃料収入の回復等により増収となりましたが、費用面で修繕費が増加したことなどにより減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,940億5千6百万円で、前連結会計年度末に比べて2,075億7千5百万円の減少となりました。土地の取得等により有形固定資産が99億2千万円増加した一方、現金及び預金が配当金の支払いや有形固定資産の取得等により166億5千4百万円減少、保有する株式の含み益の減少等により投資有価証券が2,102億8千4百万円減少したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,523億4千3百万円で、前連結会計年度末に比べて662億8千6百万円の減少となりました。保有する株式の時価の下落に伴い繰延税金負債が646億6千9百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は7,417億1千2百万円で、前連結会計年度末に比べて1,412億8千9百万円の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き54億3千4百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が1,441億6千1百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は73.1%、1株当たりの純資産は4,305円58銭となっております。

(連結キャッシュ・フロー計算書に関する定性的情報)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は820億5千2百万円で、前連結会計年度末に比べて166億5千4百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、86億7千万円の収入になりました（前年同期は49億5千7百万円の収入）。主な増額要因は、税金等調整前四半期純利益161億3千万円、減価償却費66億6千7百万円等、一方、主な減額要因は、法人税等の支払額151億2百万円、棚卸資産の増加額42億9千8百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、159億8千8百万円の支出となりました（前年同期は64億6千6百万円の支出）。主な内訳は、投資有価証券の売却による収入26億6千2百万円、有形固定資産の取得による支出143億8千6百万円、関係会社株式の取得による支出28億9千9百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、95億1千万円の支出となりました（前年同期は34億5千7百万円の支出）。主な内訳は、自己株式の取得による支出43億9千9百万円、配当金の支払額37億5千5百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績見通しにつきましては、当社グループの主力であります(株)TBSテレビにおきまして、9月のスポット収入が新型コロナウイルス感染症第7波や急激な円安の影響等により当初の想定を下回ったことに加え、下期においてもスポット収入が下振れる見込みです。その他の子会社でも放送収入等が当初の想定を下回ることが見込まれます。また、減収等に伴い、営業利益以下の各利益につきましても当初予想を下回る見通しです。

このような状況を勘案し、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を下記の通り修正させていただきます。

なお、今回の連結業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

2023年3月期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	371,500	24,000	35,500	22,900	136.12
今回修正予想 (B)	368,200	22,000	35,000	20,300	120.29
増減額 (B - A)	△3,300	△2,000	△500	△2,600	—
増減率 (%)	△0.9	△8.3	△1.4	△11.4	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	358,269	20,346	30,707	32,008	187.35

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,767	82,112
受取手形、売掛金及び契約資産	66,688	65,472
有価証券	10	—
商品及び製品	7,506	8,433
番組及び仕掛品	6,308	9,534
原材料及び貯蔵品	648	793
前払費用	9,483	10,193
その他	9,406	16,146
貸倒引当金	△127	△120
流動資産合計	198,692	192,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	211,847	215,149
減価償却累計額	△128,468	△130,732
建物及び構築物(純額)	83,379	84,416
機械装置及び運搬具	77,468	78,124
減価償却累計額	△68,969	△69,448
機械装置及び運搬具(純額)	8,498	8,676
工具、器具及び備品	18,151	18,379
減価償却累計額	△15,668	△15,737
工具、器具及び備品(純額)	2,482	2,642
土地	144,169	158,838
リース資産	1,979	1,873
減価償却累計額	△1,671	△1,647
リース資産(純額)	307	225
建設仮勘定	7,906	1,865
有形固定資産合計	246,744	256,665
無形固定資産		
ソフトウェア	6,465	6,981
のれん	9,611	8,713
その他	972	695
無形固定資産合計	17,050	16,390
投資その他の資産		
投資有価証券	726,947	516,663
長期貸付金	187	190
繰延税金資産	2,311	2,125
長期前払費用	216	142
その他	9,667	9,495
貸倒引当金	△186	△182
投資その他の資産合計	739,144	528,434
固定資産合計	1,002,939	801,490
資産合計	1,201,632	994,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,956	38,699
1年内返済予定の長期借入金	—	1,500
未払金	14,678	14,844
未払法人税等	3,133	4,725
未払消費税等	2,593	790
未払費用	1,676	1,470
賞与引当金	4,018	4,105
役員賞与引当金	27	5
固定資産撤去費用引当金	136	80
その他	9,370	10,978
流動負債合計	75,592	77,201
固定負債		
長期借入金	26,000	23,500
退職給付に係る負債	14,689	14,501
リース債務	186	104
繰延税金負債	186,409	121,740
その他	15,752	15,296
固定負債合計	243,037	175,142
負債合計	318,629	252,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	42,576	42,547
利益剰余金	357,818	363,253
自己株式	△1,552	△4,848
株主資本合計	453,829	455,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414,390	270,229
繰延ヘッジ損益	25	30
為替換算調整勘定	81	256
退職給付に係る調整累計額	127	104
その他の包括利益累計額合計	414,625	270,621
非支配株主持分	14,547	15,151
純資産合計	883,002	741,712
負債純資産合計	1,201,632	994,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	172,080	178,863
売上原価	113,509	121,993
売上総利益	58,571	56,870
販売費及び一般管理費	43,977	46,763
営業利益	14,593	10,106
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	4,522	6,898
持分法による投資利益	75	80
その他	316	374
営業外収益合計	4,920	7,358
営業外費用		
支払利息	47	41
固定資産除却損	58	111
投資事業組合運用損	315	32
控除対象外消費税等	47	57
その他	219	188
営業外費用合計	688	430
経常利益	18,825	17,034
特別利益		
投資有価証券売却益	1,081	533
雇用調整助成金	※1 67	—
特別利益合計	1,149	533
特別損失		
投資有価証券評価損	103	1,397
事業構造改善費用	1,176	32
減損損失	45	8
感染症拡大に伴う損失	※2 152	—
特別損失合計	1,477	1,437
税金等調整前四半期純利益	18,497	16,130
法人税、住民税及び事業税	4,128	5,365
法人税等調整額	2,027	842
法人税等合計	6,155	6,208
四半期純利益	12,342	9,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	347	730
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,995	9,191

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	12,342	9,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,560	△144,165
繰延ヘッジ損益	△28	—
為替換算調整勘定	9	175
退職給付に係る調整額	△22	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	9
その他の包括利益合計	39,510	△144,007
四半期包括利益	51,852	△134,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,504	△134,812
非支配株主に係る四半期包括利益	347	726

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,497	16,130
減価償却費	6,466	6,667
長期前払費用償却額	12	26
減損損失	45	8
のれん償却額	898	898
投資有価証券評価損益 (△は益)	103	1,397
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,081	△533
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△827	86
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△349	△229
固定資産除却損	58	111
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△10
受取利息及び受取配当金	△4,527	△6,903
支払利息	47	41
持分法による投資損益 (△は益)	△75	△80
売上債権の増減額 (△は増加)	2,567	1,216
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,062	△4,298
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,592	393
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,700	△1,248
その他	2,915	△2,090
小計	16,387	11,581
利息及び配当金の受取額	4,891	7,176
利息の支払額	△47	△41
法人税等の還付額	4,323	5,055
法人税等の支払額	△20,596	△15,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,957	8,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,365	△14,386
有形固定資産の売却による収入	50	1
無形固定資産の取得による支出	△2,191	△1,080
投資有価証券の売却による収入	1,403	2,662
関係会社株式の取得による支出	△527	△2,899
その他	163	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,466	△15,988
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△600	△1,000
自己株式の取得による支出	△1	△4,399
配当金の支払額	△2,565	△3,755
非支配株主への配当金の支払額	△57	△122
その他	△233	△233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,457	△9,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,956	△16,654
現金及び現金同等物の期首残高	116,061	98,707
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,727	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,832	82,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けたものであり、当該支給額を「雇用調整助成金」として特別利益に計上しております。

※2 感染症拡大に伴う損失

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの要請や声明等を踏まえ、イベントの中止、店舗営業の自粛により発生した固定費(人件費・賃借費・減価償却費)等を「感染症拡大に伴う損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	134,823	29,394	7,862	172,080	—	172,080
セグメント間の内部売上 高又は振替高	157	3	2,340	2,501	△2,501	—
計	134,981	29,397	10,202	174,581	△2,501	172,080
セグメント利益	8,914	1,759	3,919	14,592	0	14,593

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	138,201	32,506	8,154	178,863	—	178,863
セグメント間の内部売上 高又は振替高	313	4	2,591	2,909	△2,909	—
計	138,515	32,511	10,746	181,773	△2,909	178,863
セグメント利益	4,339	2,008	3,750	10,098	8	10,106

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(株)TBSテレビ事業収入の内訳 (第2四半期)

(単位:百万円)

区分	前第2四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	比較		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	93,335	93,155	△180	△0.2	192,616
タイム	42,208	40,110	△2,098	△5.0	81,831
スポット	39,589	39,765	176	0.4	84,559
配信広告	1,781	2,387	605	34.0	4,871
その他	9,756	10,892	1,135	11.6	21,354
事業	10,420	14,678	4,257	40.9	21,820
不動産	1,510	1,511	1	0.1	3,013
合計	105,266	109,346	4,079	3.9	217,450

(注) 前第2四半期および前事業年度においてコンテンツ区分で開示していた収入のうち、配信広告を当第2四半期より別掲したうえで、配信広告以外をその他区分で集計しております。

なお、前第2四半期および前事業年度について、当該変更による組替を行ったうえで開示しております。